

平成29・30年度
始良・伊佐地区研究協力校（道徳科）研究公開
始良市立始良小学校

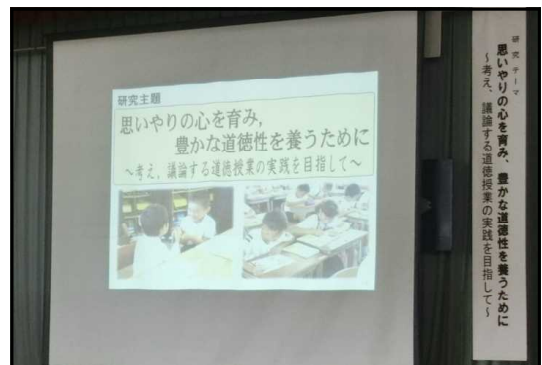
1 研究主題

「思いやりの心を育み，豊かな道徳性を養うために」
～考え，議論する道徳授業の実践を目指して～

2 研究発表

始良市立始良小学校では，創立以来「思いやり」を校訓とし，PTAの協力をいた
だきながら，「思いやりの心」の育成に取り組んでこられました。

研究発表では，考え，議論する道徳授業の
実践を図るために，「話し合いにおける基本的
な考え方」を職員で共通理解するとともに，
具体的な話し合いモデルを示されました。ま
た，書く活動の充実を図るためのワークシ
ートも示され，多くの示唆を得られた発表とな
りました。参加者からも，「様々な取組を紹
介していただき，参考になった。」との声
が聞かれました。



【研究発表の様子】

なお，仮説及び主な取組は以下のとおりです。

【仮説1】

道徳科の指導過程や指導方法の工夫・改善を行うことにより，子どもの豊かな
道徳性を養うことができるのではないか。

〈具体的な取組〉

- ・ 基本的な指導過程の位置付け
- ・ 指導方法の工夫・改善〔話し合い，表現，評価，板書等〕

【仮説2】

道徳科と学校全体の様々な教育活動との関連を図り，意図的・計画的に展開す
ることにより，子どもの豊かな道徳性を養うことができるのではないか。

〈具体的な取組〉

- ・ 道徳教育全体計画の工夫・改善及び別葉の作成
- ・ 教育活動全体を通じた道徳性の育成〔集会，ボランティア，縦割り活動等〕

【仮説3】

校内の道徳的環境を整備するとともに，子ども・保護者の実態を踏まえ，学校
と家庭が協力し連携していくことにより，子どもの豊かな道徳性を養うことが
できるのではないか。

〈具体的な取組〉

- ・ 家庭，地域との連携〔アンケート，道徳授業参観の実施〕
- ・ 校内，学級の設営の工夫〔道徳コーナー，あいらの木，人権コーナー〕

3 公開授業

2年生、3年生、6年生の3学級で授業が公開されました。どの学級においても、「親切、思いやり」について考えを深める授業でした。

2年生では、森崇恵教諭が授業を行い、児童に役割演技をさせることで、考えを深めさせ、話し合い活動へとつなげました。児童が積極的に発表するなど、興味・関心を高めながら主体的に取り組む姿が見られた授業でした。

3年生では、脇圭一教諭が授業を行いました。導入段階では、アンケート結果を示しながら、児童に課題を自分のこととして捉えさせ、展開へとつなげていきました。その後の話し合いの場面では、自分の考えに加えて、その理由を述べさせていました。そのことにより、議論の活性化が図られた授業でした。

6年生では、竹迫秀一教諭が授業を行いました。考えを深めさせる場面では、教師の発問で思考が揺さぶられたり、考えを記入した付箋を使用し、多様な考えを交流したりすることにより、児童の学びに深まりが見られた授業でした。

どの学級においても、児童の意識の流れに添った構造的な板書となっていたことや、話し合う雰囲気を作られていたことから、職員が一丸となって研究を深めてこられたことが分かる授業公開でした。



【授業の様子】



【構造的な板書】

4 分科会

分科会では、2つの研究協議の柱を立て、ワークショップ形式による研究協議が行われました。

実際の協議では、深める場の工夫や板書の在り方、ワークシートの内容などについての意見が交わされました。特に、議論させるためには、「何について話し合うのかを明確にすること」、「相手の意見をきちんと聞くことができる学級集団であること」、「自分の意見をきちんともたせてからグループ活動へと移ること」が重要であるといった意見が出されました。



【ワークショップ形式の研究協議】

